

第2期

ファンドは特化型運用を行います。

運用報告書(全体版)

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/株式	
信託期間	2023年7月5日から2045年6月9日までです。	
運用方針	JPモルガン・米国株式・プレミアム・インカムETFを通じて、米国株式への投資と、S&P500種指数を対象とするコールオプションの売却を組み合わせたポートフォリオへの投資を行い、投資信託財産の成長を目指して運用を行います。 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主要投資対象	当ファンド	米国の取引所の上場投資信託証券(ETF)(米ドル建)の受益証券を主要投資対象とします。
	JPモルガン・米国株式・プレミアム・インカムETF	米国株式への投資とS&P500種指数を対象とするコールオプションの売却を組み合わせたポートフォリオへの投資を主要投資対象とします。
投資制限	株式(新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。)への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 JPモルガン・米国株式・プレミアム・インカムETFの投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	毎年6月10日および12月10日(それぞれ休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。 分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。 分配金額は、分配対象収益の範囲内で、委託会社が基準価額水準等を勘案して決定します。 委託会社の判断により、収益分配を行わないことがあります。	

米国株カバードコール 戦略ファンド/ JPモルガン・米国株式・ プレミアム・インカムETF

【2024年6月10日決算】

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

皆様の「米国株カバードコール戦略ファンド/JPモルガン・米国株式・プレミアム・インカムETF」は、2024年6月10日に第2期決算を迎えましたので、期中の運用状況ならびに決算のご報告を申し上げます。

今後とも、一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

SBI 岡三アセットマネジメント

〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1

お問い合わせは弊社投信営業部へ

フリーダイヤル ☎ 0120-048-214 (営業日の9:00~17:00)

お取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

[ホームページ]

<https://www.sbiokasan-am.co.jp>

※アクセスにかかる通信料はお客様のご負担となります。

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額			S&P500トータルリターン指数 〔円換算後〕		株式 組入比率	投資信託 証券組入比率	純資産 総額
	(分配落) 円	税金 分配 円	騰落 率 %	(参考指数) ポイント	騰落 率 %			
(設定日) 2023年7月5日	10,000	—	—	1,383,634.356	—	—	—	百万円 1
1期(2023年12月11日)	10,273	0	2.7	1,448,402.100	4.7	—	97.5	54
2期(2024年6月10日)	11,843	0	15.3	1,829,243.435	26.3	—	97.7	42

(注) 基準価額および分配金(税引前)は1万口当たり、基準価額の騰落率は分配金(税引前)込み。

(注) 設定日の基準価額および純資産総額は当初設定元本。

(注) S&P500トータルリターン指数〔円換算後〕は当ファンドの参考指数であり、ベンチマークではありません。

S&P500トータルリターン指数〔円換算後〕は、当該日前営業日の現地終値に為替レート(対顧客電信売買相場の当日(東京)の仲値)を乗じて当社が算出しています。

○当期中の基準価額と市況等の推移

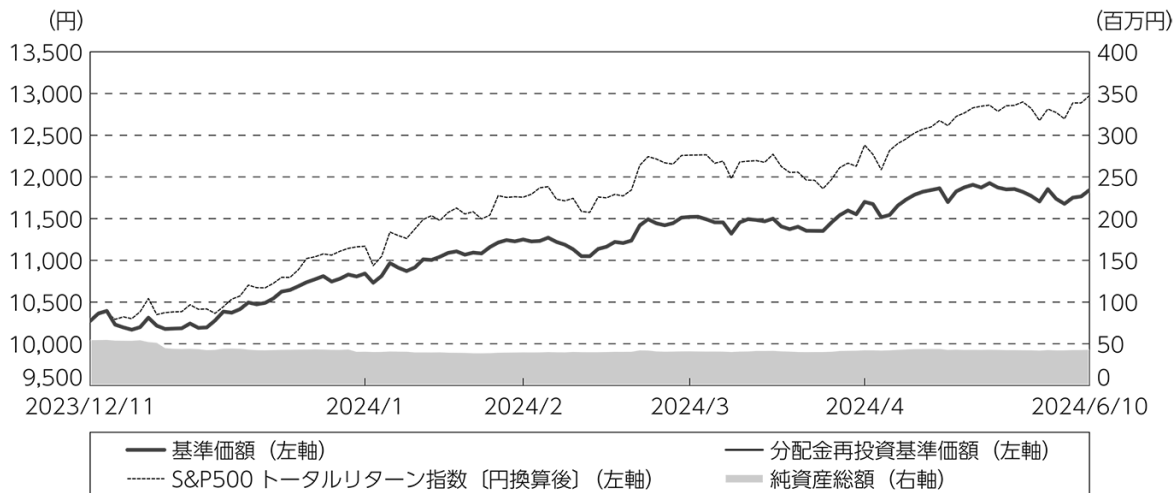
年月日	基準価額		S&P500トータルリターン指数 〔円換算後〕		株式 組入比率	投資信託 証券組入比率
	騰落 率 %	騰落 率 %				
(期首) 2023年12月11日	10,273	—	1,448,402.100	—	—	97.5
12月末	10,196	△ 0.7	1,468,875.160	1.4	—	98.6
2024年1月末	10,842	5.5	1,574,793.773	8.7	—	99.2
2月末	11,250	9.5	1,657,701.474	14.5	—	98.1
3月末	11,521	12.1	1,728,803.922	19.4	—	99.0
4月末	11,701	13.9	1,745,713.332	20.5	—	97.1
5月末	11,706	13.9	1,787,165.154	23.4	—	99.5
(期末) 2024年6月10日	11,843	15.3	1,829,243.435	26.3	—	97.7

(注) 騰落率は期首比。

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2023年12月12日～2024年6月10日)



期首：10,273円

期末：11,843円 (既払分配金(税引前)：0円)

騰落率：15.3% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 参考指数は、S&P500トータルリターン指数〔円換算後〕です。
- (注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、期首(2023年12月11日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドにおける主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)

- ・投資対象である「JPモルガン・米国株式・プレミアム・インカムETF」の価格上昇がプラス要因となりました。
- ・投資対象である「JPモルガン・米国株式・プレミアム・インカムETF」からの分配金収入がプラス要因となりました。
- ・為替市場で、米ドルが円に対して上昇(円安)したことがプラス要因となりました。

(主なマイナス要因)

- ・特にありません。

投資環境

(2023年12月12日～2024年6月10日)

米国株式市場は、長期金利が低下するなかで上昇して始まりました。2024年に入ってから、米国の底堅い経済を示す経済指標が発表され、ソフトランディング（経済の軟着陸）への期待が高まったことから、株価は3月にかけて堅調に推移しました。しかし4月から期末にかけては、インフレ率上昇への懸念などを背景に長期金利が上昇したことや、年内の金融緩和期待の後退などが懸念され、上値の重い値動きとなりました。

為替（米ドル／円）は、期初から2023年12月末にかけては、米国における2024年の利下げが意識されるなか、米ドル／円は下落（円高）しました。2024年に入ってから、米国の早期利下げ観測が後退したことに加え、日銀によるマイナス金利の解除後も緩和的な金融政策を維持されるとの見方を背景に、米ドル／円は上昇（円安）する展開となりました。

当ファンドのポートフォリオ

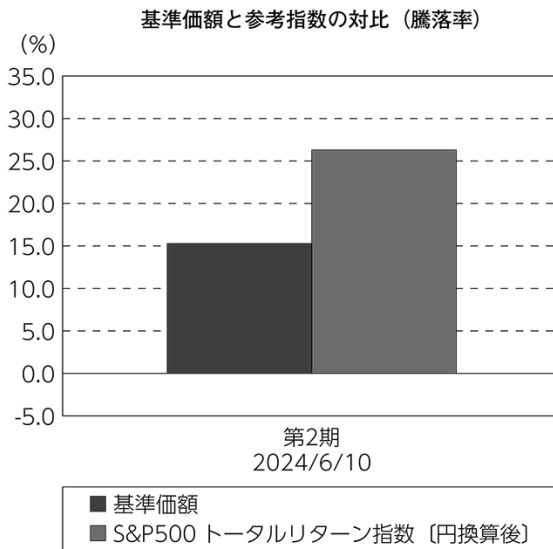
(2023年12月12日～2024年6月10日)

当ファンドの運用につきましては、「JPモルガン・米国株式・プレミアム・インカムETF」への投資を通じて、米国株式への投資とS&P500種指数を対象とするコールオプションの売却を組み合わせたポートフォリオへの投資を行ってまいりました。資金フローに対応しながら組入比率を高位で維持しました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2023年12月12日～2024年6月10日)

当ファンドは特定のベンチマークを設けておりませんが、当ファンドの基準価額の騰落率は、参考指数としているS&P500トータルリターン指数〔円換算後〕の騰落率を11.0%下回りました。詳細につきましては前掲の「基準価額の主な変動要因」をご参照ください。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注) 参考指数は、S&P500トータルリターン指数〔円換算後〕です。

分配金

(2023年12月12日～2024年6月10日)

当ファンドは、毎年6月10日および12月10日（それぞれ休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配を行います。分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。分配金額は、分配対象収益の範囲内で、委託会社が基準価額水準等を勘案して決定します。

当期の分配につきましては、投資信託財産の成長に重点を置く方針としていることから見送りとさせていただきます。なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行います。

(単位：円、1万口当たり・税引前)

項 目	第2期
	2023年12月12日～ 2024年6月10日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	1,842

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

(投資環境)

米国株式市場は、当面は上値の重い展開が想定されます。これまでの株価上昇をサポートしていた好調な企業業績の発表が一巡し、今後の注目材料は2024年6月中旬以降の物価指標や米連邦公開市場委員会（FOMC）になると考えられます。インフレ率の低下に十分な進展がみられず、米連邦準備制度理事会（FRB）による年内の利下げ開始への期待が後退した場合、短期的に売りの出やすい展開になると予想します。

(運用方針)

「JPモルガン・米国株式・プレミアム・インカムETF」の高位組入れを継続する方針です。

○ 1万口当たりの費用明細

(2023年12月12日～2024年6月10日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	10	0.092	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(6)	(0.049)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(4)	(0.033)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.010)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	5	0.048	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
(投 資 信 託 証 券)	(5)	(0.048)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税	0	0.000	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数
(投 資 信 託 証 券)	(0)	(0.000)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用	20	0.177	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(19)	(0.170)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の 送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(1)	(0.007)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	その他は、金銭信託支払手数料
合 計	35	0.317	
期中の平均基準価額は、11,202円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

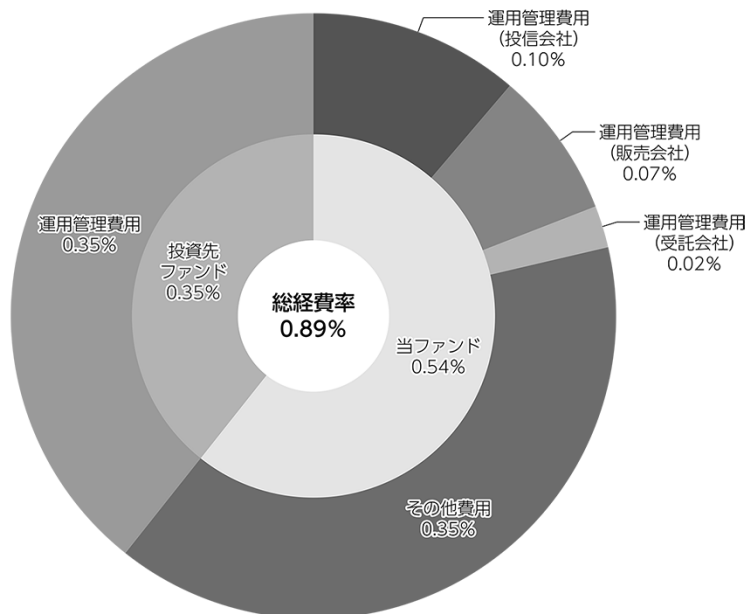
(注) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.89%です。



(単位: %)

総経費率(①+②+③)	0.89
①当ファンドの費用の比率	0.54
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.35
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	—

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券です。

(注) 当ファンドの費用は、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 投資先ファンドの運用管理費用以外はありません。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2023年12月12日～2024年6月10日)

投資信託証券

銘	柄	買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外国	アメリカ		千米ドル		千米ドル
	J.P.モルガン・エクスチェンジ・トレーディッド・ファンド・トラスト-JPモルガン・米国株式・プレミアム・インカムETF	373	21	2,344	129

(注) 金額は受渡代金。
(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2023年12月12日～2024年6月10日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2024年6月10日現在)

外国投資信託証券

銘	柄	期首(前期末)		当 期 末		比 率
		口 数	口 数	評 価 額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)		口	口	千米ドル	千円	%
	J.P.モルガン・エクスチェンジ・トレーディッド・ファンド・トラスト-JPモルガン・米国株式・プレミアム・インカムETF	6,684	4,713	266	41,824	97.7
合 計	口 数 ・ 金 額	6,684	4,713	266	41,824	
	銘 柄 数 < 比 率 >	1	1	-	<97.7%>	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。
(注) 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する各国別投資信託証券評価額の比率。
(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2024年6月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 41,824	% 97.5
コール・ローン等、その他	1,050	2.5
投資信託財産総額	42,874	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。
(注) 当期末における外貨建純資産(42,064千円)の投資信託財産総額(42,874千円)に対する比率は98.1%です。
(注) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算レートは1米ドル＝157.01円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2024年6月10日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	42,874,634
コール・ローン等	1,050,504
投資信託受益証券(評価額)	41,824,129
未収利息	1
(B) 負債	72,151
未払解約金	30,727
未払信託報酬	38,714
その他未払費用	2,710
(C) 純資産総額(A-B)	42,802,483
元本	36,142,706
次期繰越損益金	6,659,777
(D) 受益権総口数	36,142,706口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,843円

(注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、1,184円です。

(注) 当ファンドの期首元本額は52,782,636円、期中追加設定元本額は12,794,009円、期中一部解約元本額は29,433,939円です。

○損益の状況 (2023年12月12日～2024年6月10日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	1,181,076
受取配当金	1,406,020
受取利息	1,451
支払利息	△ 226,395
(B) 有価証券売買損益	3,691,544
売買益	4,238,660
売買損	△ 547,116
(C) 信託報酬等	△ 111,686
(D) 当期損益金(A+B+C)	4,760,934
(E) 前期繰越損益金	169,032
(F) 追加信託差損益金	1,729,811
(配当等相当額)	(675,468)
(売買損益相当額)	(1,054,343)
(G) 計(D+E+F)	6,659,777
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	6,659,777
追加信託差損益金	1,729,811
(配当等相当額)	(675,468)
(売買損益相当額)	(1,054,343)
分配準備積立金	4,929,966

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 収益分配金

決算期	第2期
(a) 配当等収益(費用控除後)	1,154,003円
(b) 有価証券等損益額(費用控除後、繰越欠損金補填後)	3,322,226円
(c) 信託約款に規定する収益調整金	1,729,811円
(d) 信託約款に規定する分配準備積立金	453,737円
分配対象収益(a+b+c+d)	6,659,777円
分配対象収益(1万口当たり)	1,842円
分配金額	0円
分配金額(1万口当たり)	0円

<お知らせ>

該当事項はございません。

用語解説

○資産、負債、元本及び基準価額の状況は、期末における資産、負債、元本及び基準価額の計算過程を表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
資産	ファンドが保有する財産の合計です。
コール・ローン等	金融機関向けの安全性の高い短期貸付運用などの残高です。
各種有価証券等(評価額)	組入れた株式・債券・ファンドなどの評価金額です。
未収入金	入金が予定されている有価証券の売却代金などです。
未収配当金	入金が予定されている株式の配当金等です。
未収利息	入金が予定されているコール・ローン等の利息や債券の利息の合計です。
負債	支払いが予定されている金額の合計です。
未払収益分配金	期末時点で支払いが予定されている収益分配金です。
未払解約金	支払いが予定されている解約金です。
未払信託報酬	支払いが予定されている信託報酬の額です。
その他未払費用	支払いが予定されている監査費用、その他の費用です。
純資産総額(資産－負債)	ファンドが保有する財産の合計から支払いが予定されている金額の合計を差し引いたものです。
元本	ファンド全体の元本残高です。
次期繰越損益金	純資産総額と元本の差額(翌期に繰り越す損益金の合計額)です。
受益権総口数	受益者が保有する受益権口数の合計です。
1(万)口当たり基準価額	1(万)口当たりのファンドの時価です。

用語解説

○損益の状況は、期中にファンドがどのような収益や損失を計上したかを表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
配当等収益	ファンドが受取った配当金・利息等の合計です。
受取配当金	保有する株式等の配当金等です。
受取利息	債券、コール・ローン等の利息等です。
有価証券売買損益	有価証券の売買損益と期末の評価損益の合計額です。
売買益	売買益と期末評価益の合計です。
売買損	売買損と期末評価損の合計です。
信託報酬等	信託報酬のほか保管費用、監査費用、その他の費用と、それに掛かる消費税等相当額です。
当期損益金	当期における収支合計です。
前期繰越損益金	前期分の分配準備積立金と繰越損益金の合計額から当期中の解約に対する持分を控除した金額です。
追加信託差損益金	受益者がファンドに払い込んだ金額と元本との差額です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
計	収益分配前の期中の収支の総合計です。
収益分配金	期中の分配可能額から受益者に支払われる分配金です。
次期繰越損益金	翌期に繰り越す損益金の合計です。
追加信託差損益金	翌期に繰り越す追加信託差損益金です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
分配準備積立金	翌期に繰り越す分配準備積立金の額です。
繰越損益金	翌期に繰り越す損益金の額です。

＜参考情報＞

J.P. モルガン・エクステンジ・トレーディッド・ファンド・トラストーJPモルガン・米国株式・プレミアム・インカムETF

＜当ファンドの仕組みは次の通りです＞

ファンドの形態	米ドル建／オープンエンド契約型外国投資信託／米国デラウェア州籍法定信託
運用会社	J.P. モルガン・インベストメント・マネージメント・インク（米国法人）
運用方針	元本の成長の見込みを維持しつつ、当期収益をもたらすことを目指します。
投資態度	<ol style="list-style-type: none"> 1. 米国株式への投資とS&P500種指数を対象とするコールオプションの売却を組み合わせたポートフォリオへの投資を行います。 2. 米国株式への投資にあたっては、原則としてS&P500種指数構成銘柄に投資します。独自のリサーチプロセスにより、S&P500種指数よりも低いボラティリティ水準の株式ポートフォリオを構築することを目指します。 3. コールオプションの売却は、株価連動債券への投資を通じて行い、オプションプレミアムの獲得を図ります。
投資制限	<ol style="list-style-type: none"> 1. 原則として、本件資産の80%以上を普通株式、株価連動債券、その他の持分証券に投資します。本件資産とは、純資産に投資目的の借入金を加えたものです。 2. 純資産の最大20%を株価連動債券に投資することがあります。
運用報酬	純資産総額×年率0.35%

※当運用報告書作成時点において、開示できる情報はありません。